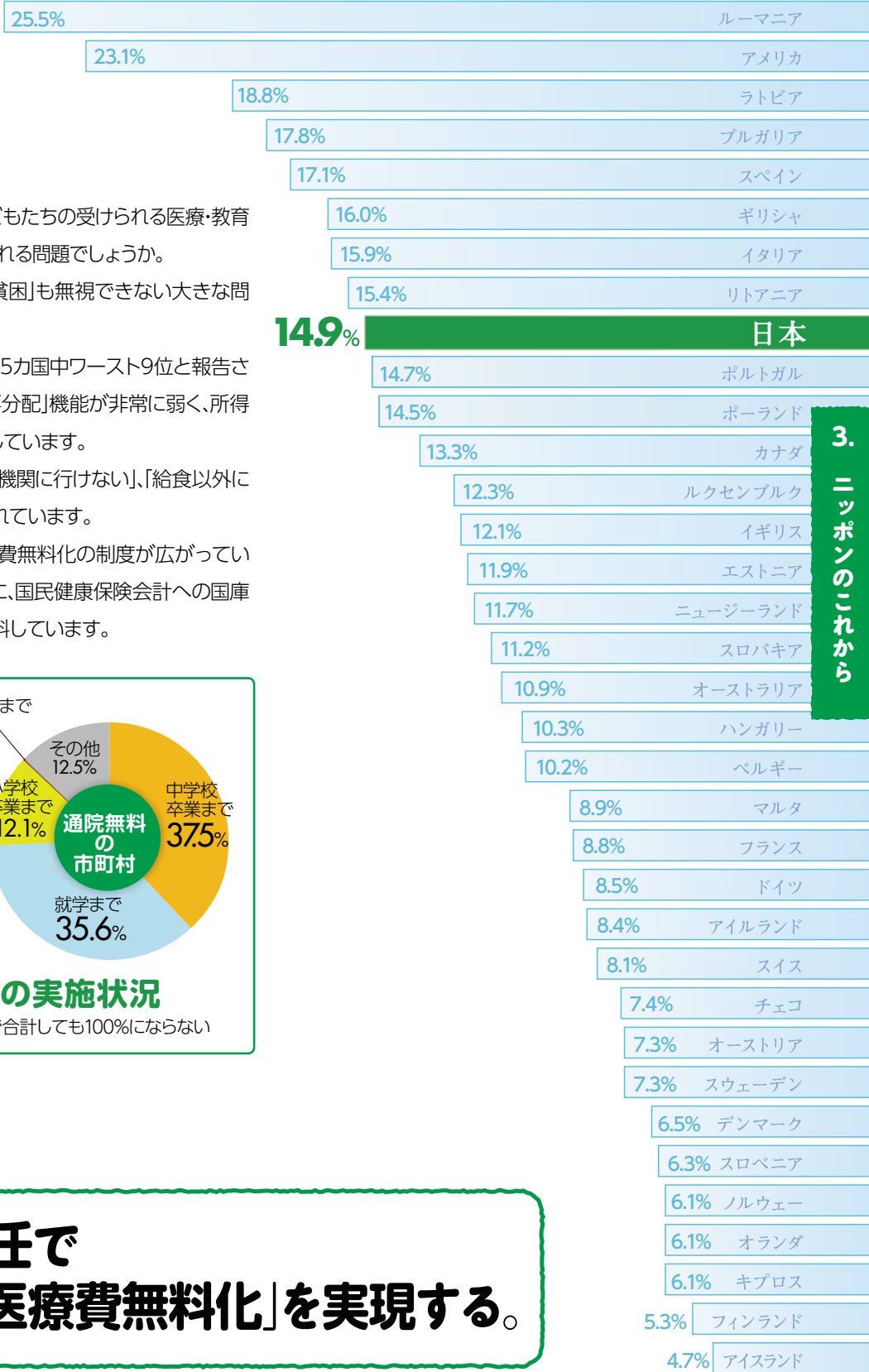


3. ニッポンのこれから

# ② 「子どもの貧困」と向き合う

「子どもの貧困率」ワースト9位のニッポン。



3. ニッポンのこれから

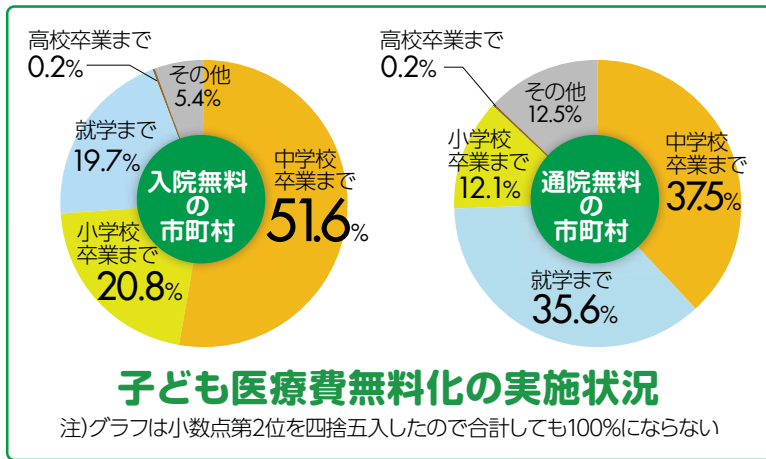
住んでいる場所や親の経済力の違いで、子どもたちの受けられる医療・教育に格差が生じる。それは、「自己責任」で片付けられる問題でしょうか。

社会に貧困と格差が広がる中、「子どもの貧困」も無視できない大きな問題となっています。

日本の子ども(18歳以下)の貧困率は先進35カ国中ワースト9位と報告されています。格差を是正するための所得の「再分配」機能が非常に弱く、所得の再分配後に、子どもの貧困率はむしろ上昇しています。

教育現場からは、「病気やケガをしても医療機関に行けない」、「給食以外に食べるものがない」など深刻な事例が報告されています。

こうした中、全国の自治体で、子どもの医療費無料化の制度が広がっています(下図)。ところが、国はこの自治体の制度に、国民健康保険会計への国庫負担の削減というかたちで「ペナルティー」を科しています。



新しい暮らし・経済のための提案 **6**



国の責任で「子ども医療費無料化」を実現する。

子どもの貧困率  
ユニセフの報告より(2012年)